

JForest

森林組合だより

平成28年 6月30日

発行

第 109 号



ご臨席のご来賓

5月27日開催 第22回 通常総代会

本荘由利森林組合

由利本荘市水林381

TEL 0184-24-4141 (代) FAX 0184-24-4143

HP <http://www.honmori.com/> メール honmori@trad.ocn.ne.jp



第22回 通常総代会開催

第22回通常総代会を5月27日、ホテルアイリスを会場に開催しました。
小松組合長の挨拶に続いて、秋田県議会議員小田美恵子様、秋田県議会議員加藤鉦一様、由利地域振興局長様、農林中央金庫秋田支店長様、秋田県森林組合連合会代表理事会長様から御祝辞をいただきました。
議長には由利地区総代の木内恵一氏が選任され、議事が進行されました。

ご挨拶

代表理事組合長

小松 佳和

第22回本荘由利森林組合通常総代会を開催するにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

平素から皆様には、格別のご指導、ご支援をいただいておりますことに、この場をお借りしまして、厚くお礼を申し上げます。

はじめに、この度の熊本地震は、甚大な被害をもたらし、いまだ続く余震の中で、被災地では多数の方々が不安の中で避難生活をおくられています。

お亡くなりになられた方々に心からお悔やみ申し上げますとともに、被災されました地域の皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

今回の地震も土砂崩壊等による多くの被害が発生し、森林機能の大切さを改めて痛感した次第です。

さて、平成27年度は、消費増税の駆け込み需要の反動が、いまだおさまりきらない中でスタートし、木材市場動向も不透明な状態が続きました。

こうした影響は、当組合経営の中でも林産部門等で特に顕著で、取扱量は前年度並みでしたが、販売額の減少という形で現れ、相対的に事業計画を割り込むこととなり、決算上、誠に残念

《総代会出席者》

本人出席…… 177人
書面議決…… 71人
委任出席…… 0人

合 計…… 248人
総代現在数…… 300人
出席率…… 83%

な結果になりましたことを、ご報告しなければなりません。

森林・林業をめぐる情勢は、世界的には、人口が増加し、木材消費量は増加していますが、二酸化炭素排出量の増大、違法伐採による森林減少や劣化が懸念されております。

一方、わが国においては、全国の森林蓄積量は、49億立方に達し、人工林の半数は10歳級以上の主伐期に達していますが、木材の消費量は、年間成長量を大きく下回っており、森林資源の有効活用が課題となっております。

国では、その対策として、山村地域に産業と雇用を生み出すため、林業の成長産業化を重点課題とした施策を進めることとしております。

また秋田県では、この4月から「木材利用促進条例」を施行し、木材を優先的に利用する「ウッドファーストあきた」の推進を図ることとしております。



これらを背景に当組合では、平成28年度の事業計画の運営方針として、6つの重点項目を掲げました。

その中でも、特に地域材の需要拡大を重点とし、公共建築物への木材利用や木質バイオマスを含めた生産拡大と販売促進に努めてまいります。

また、地域の森林資源を有効活用するための安定供給体制の構築と、生産された原木等が、用途や数量に応じ、有利な流通ができるようにするための体制整備を進めます。

さらには、原木価格の低位な状況が続く中で、基本となる若年層の雇用拡大や、協力事業体との連携など、経営基盤の強化を最優先と位置づけ、今回ご提案させていただきましたので、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

組合員の皆様には、今後とも引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。役職員一体となり年度計画達成に向けて邁進してまいります。

また、国、県や由利本荘市、にかほ市など、各関係機関をはじめ、関係者の皆様には、当組合に対し、今後とも一層、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

質疑応答

【本荘地区 畠山氏】

Q、未収賦課金、金融未収金の現状を教えてください。

A、金融未収では現在7、8名の未払い者がいる。また賦課金では現在回収率99%で3人程が未納になっている。

Q、木質バイオマス用の機械の導入を計画しているが、このような森づくりをしたいという夢がありましたらお聞かせ下さい。

A、由利本荘市、にかほ市の蓄積材が年間40万立方ある。この材の利益を組合員に還元できるようにしていくのが、今後一番の課題だと思っている。当組合は8支所を有し広範な面積になるため、今回移動式チップパーを導入することにした。



【東由利地区 安倍氏】

Q、チップパーに専門のオペレーターや従事者をつけて運営していくのか。

A、現在、日本製チップパーの処理量は1日100立方に対し、導入予定のチップパーは1時間100立方のものである。高価な機械の為、それなりのオペレーターをつけてやっていきたい。

Q、チップにする材はスギの廃材、端材の他に広葉樹も利用するのか。これからの利用構想を聞かせてほしい。

A、まずは秋田市のバイオマス発電に出していくつもりである。

また、広葉樹をチップパーにかけた場合、刃の傷みが早いという事で、無理のない運用を考えている。

その他 私ども林家は今、山がお金にならない為、非常に厳しい時代になっている。できるだけ林家の所得に繋がる事業、施策を行ってほしい。



来賓ご芳名（順不同）

県議会議員

小田 美恵子 様

県議会議員

加藤 鉦一 様

由利地域振興局長

代理 農林部長 櫻田 良弘 様

由利本荘市長

代理 企業管理者 藤原 秀一 様

由利本荘市議会議長

鈴木 和夫 様

にかほ市長

代理 副市長 須田 正彦 様

にかほ市議会議長

菊地 衛 様

由利森林管理署長

佐々木 欣雄 様

農林中央金庫秋田支店長

代理 副支店長 高山 一雄 様

秋田県森林組合連合会代表理事会長

代理 代表理事専務 福井 敬二 様

農林部森づくり推進課長

原田 久夫 様

平成28年度 造林補助事業について

今年度も組合員のご理解をいただきながら森林整備事業を推進して参りますのでご協力をお願いします。
注) 下記のとおり採択要件がありますので作業前に必ず各支所にご相談ください。

1. 補助金を受けるための採択要件

下記の補助金を受けるためには、「森林経営計画の認定」が必要となります。

※1 施行地 0.10ha以上の実施が必要です。

所有者自ら作業を行う場合の注意点

補助金申請をする際に次の写真データを提出する必要があります。

写真データの無いものは申請ができなくなりますので、作業前に必ず各支所へご連絡をお願いします。

①着手前状況写真 ②作業状況写真 ③完成後の写真 … 面積に応じた枚数が必要。

※写真データには位置情報が必要となりGPS機能のあるデジタルカメラで撮影する必要があります。

2. 平成28年度 造林補助事業種別補助金額（森林環境保全直接支援事業）

作業種	対象林齢	採択要件・留意事項等	補助金額（1ha当り）		備考
			組合作業	所有者作業	
植栽	スギ	・区分 （スギ）①植栽本数 1,500～1,799本 （スギ）②植栽本数 1,800～2,099本 （スギ、マツ）③植栽本数 2,100～2,499本 （スギ、マツ）④植栽本数 2,500～3,000本 ・枯損率 20%未満 ・再造林、拡大造林の区分無し ・広葉樹A：苗高 50cm以上 ・広葉樹B：苗高 100cm以上 ・広葉樹C：苗高 150cm以上	583,000 ～739,000	465,000 ～590,000	※普通苗
	マツ		502,000 ～524,000	401,000 ～418,000	
	広葉樹A		1,104,000 ～1,179,000	881,000 ～941,000	
	広葉樹B		1,709,000 ～1,836,000	1,364,000 ～1,465,000	
	広葉樹C		2,509,000 ～2,706,000	2,003,000 ～2,160,000	
下刈	単層林：1～7年生 複層林：1～25年生	・1年生、2年生～、樹高が2.5m以下	114,000	91,000	
雪起こし	2～15年生	・雪圧倒伏率30%（6年以上は50%）以上で採択 ・区域面積×被害率＝実施面積で申請	116,000	93,000	
枝打ち	11～30年生	・仕上げ幅 2.0m未満（若齢木） 又は2.0m以上6.0m以下 ・実施本数 100本～2,500本/ha	43,000 ～158,000	34,000 ～126,000	
除伐（刈払）	11～25年生 天然林は40年生まで	・刈払率 100%以上 ・過去5年以内に補助金を受領していないこと	95,000	76,000	
保育間伐	35年生以下又は伐採対象木の 平均胸高直径18cm未満	・伐採本数率 20%以上 ・過去5年以内に補助金を受領していないこと	62,000 ～99,000	49,000 ～79,000	
間伐	11～100年生	・伐採本数率 20%以上 ・伐採材積率35%以下 ・標準単価 10m ³ ～80m ³ /haで10m ³ 刻み	127,000 ～367,000	102,000 ～293,000	
更新伐	11～90年生	・伐採本数率 56%以上 ・2年経過後、更新完了の確認必要	77,000 ～695,000	61,000 ～555,000	
間伐・更新伐 共通		・5ha以上の集約化かつ10m ³ /ha以上の 搬出必要 ・過去5年以内に補助金を受領していないこと ・材積が確認できる納品伝票等必要 ・間伐と更新伐あわせて5ha以上で申請可			
森林作業道	上記の作業に係わる 作業道の開設	・土構造を基本とし、繰り返しの使用に 耐えるもの ・幅員（2.0/2.5/3.0）m × 地山勾配で区分 ・最急縦断勾配 30%（11.9°）/100m以内 ※路網密度150m/ha以下	567 ～1,587	453 ～1,267	m当



森づくりのワンポイント

(広葉樹施業の基礎 1回目)

第6回

平成28年度は、「森づくりのワンポイント」コーナーを、広葉樹施業の基礎的な事項について掲載する予定ですので、ご活用ください。

1回目は、当管内の広葉樹資源の現況についてお知らせします。

本荘由利管内の広葉樹資源の現況

★面積・材積と林齢構成

- 管内の広葉樹資源の現況と林齢構成を表-1と図-1に示しました。
- 面積は、約32,500haで、森林面積の約40%を占めていますが、蓄積は、針葉樹も含めた全蓄積の20%程度です。
- また、林齢は、60年生がピークとなっていますが、用材等に適する80年生以上は、全体の12%という現状です。

★樹種別の資源量

- 樹種別の構成割合を図-2に示しました。
- これは、昭和時代の終わりに、県が、県内多くの現地で実施した調査に基づく貴重な資料です。
- コナラとミズナラで半数以上を占め、ブナ、サクラ類、クリ、カエデ類、ホオノキの、いわゆる有用広葉樹が35%、残りはシナノキ、ケヤキ、クルミ、トチなどで、13%となっています。ケヤキは、全体の1%たらずです。
- 林分の特徴は、純度（林分全体に占める割合）が50%以上を占めるような群落を形成するのは、コナラ、ミズナラ、ブナで、その他は、いわゆる点性型の樹種であるため、まとまった量を確保するのが大変です。

★由利管内の特徴

- 管内では、東由利地域ではミズナラが、鳥海地域ではブナが、比較的多い地域となっています。また、他管内と比べると、ヤチダモが多い地域です。
- 標高500mを越えると、コナラは、ほとんど見られなくなり、ブナとミズナラが主体で、積雪2.5m以上の豪雪地帯では、高木性の樹種はブナとなっています。

表-1 管内の森林資源の現況

	面積 (ha)			蓄積 (千m)		
	計	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹
由利本荘市	70,135	41,353	28,315	19,897	15,913	3,983
にかほ市	11,421	7,054	4,144	3,169	2,594	574
合計	81,556	48,407	32,459	23,066	18,507	4,557

※面積の計と内訳の合計との差は無立木地等

図-1 面積 (ha)

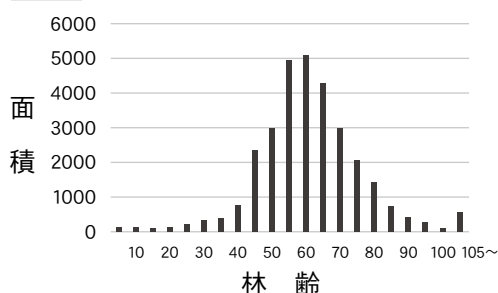
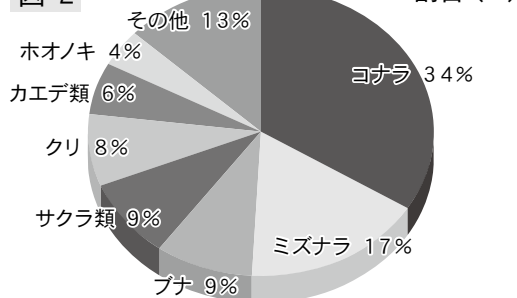


図-2 割合 (%)



ナラ枯れにより里山のナラは消滅するのか

- 一般に、里山のナラ類は標高の低い所では、コナラが主体で、高くなるにつれ、ミズナラが多くなります。近年、ナラ枯れ病により、ナラ類が被害を受けていますが、壊滅的な被害を受けたとしても、植えないと再生しないスギやマツ類とは異なり、次の理由により、将来的には、再生（二次林）するものと考えられています。
 - ①ナラなどの広葉樹類は、萌芽などの天然更新力が旺盛なこと
 - ②コナラ林は激害に及ぶことは少ないこと
 - ③管内のナラ林の純度（ナラの占める割合）は、高くても60%程度であり、他の樹種も多く含まれていること
- しかしながら、山形県などでは、急斜面などの大径のナラ林が被害を受けた場合は、降雨などにより、土砂災害が確認された事例がありますので、注意が必要です。
- また、ナラ枯れ被害地においては、自然の回復力だけに、ゆだねるよりは、萌芽整理など、人工的な施業を実施することにより、再生に要する時間を短縮することが可能となります。

木材市況情報 (平成28年)

単位：円、上段（石当り価格）
下段 m 当り 価格

			4月6日			5月2日			6月3日		
樹 種	材 長 m	径 級 cm	本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター		
			高 値	安 値	平均価格	高 値	安 値	平均価格	高 値	安 値	平均価格
ス ギ	3.65	14下									
		16～22	(2, 362) 8, 505	(2, 342) 8, 430	(2, 357) 8, 485	(2, 345) 8, 442	(2, 289) 8, 241	(2, 312) 8, 323	(2, 300) 8, 280	(2, 262) 8, 143	(2, 277) 8, 198
		24～34	(3, 106) 11, 160	(3, 044) 10, 959	(3, 076) 11, 073	(3, 181) 11, 450	(3, 101) 11, 163	(3, 119) 11, 229	(3, 154) 11, 354	(3, 099) 11, 158	(3, 119) 11, 229
出材量・販売量・販売率			319㎡(1,148石)・319㎡(1,148石) 100%			325㎡(1,170石)・230㎡(828石) 71%			473㎡(1,703石)・370㎡(1,331石) 78%		

4月：出品量も少なく3名の参加にとどまった。うまく買い方が分散し完売となったが、単価は弱含み。
5月：全般に引き合いは弱く、70%の落札にとどまる。単価は弱含みの推移で応札なしの物件も4口出た。
6月：16～22cmが引合も弱く、8,100円/m程度に落ち込んだ。また、24～34cmも材質を吟味しながらの入札となり、4口の応札なしも出るなどますます状況は悪化している。

事務所移転のお知らせ
このたび、林産販売課素材販売部門が左記へ移転することとなりましたのでお知らせ致します。
【西目木材流通センター】
由利本荘市西目町沼田字新道下一〇一九一
TEL〇一八四一三三一一〇八八
FAX〇一八四一三三一一〇八九



為せば成る

伊藤 孝幸
●造林課



本荘由利森林組合の
力になれるように、笑顔で
頑張ります。
よろしくお願いします。

本間 透子
●林産販売課



森林組合に新しいメンバーが加わりましたので、ご紹介させていただきます。
4月1日に入社を終えたばかりの新人5名です。



鈴木 元喜
いかなる状況でも、
無理も無理としない



村上 駿
安全な作業と心掛け



佐藤 嘉一
粉骨砕身

本所造林班

職員異動

平成28年4月1日付で職員の移動がありましたので、お知らせいたします。
今後ともよろしくお願いいたします。

参事 佐藤 建一

林産販売課長兼加工課長 岡本 善広

総務課長 三浦 浩巳

造林課長 武田 一也

林産販売課長補佐 阿部 久

大内支所長 武田 清光

矢島支所長 佐藤 智信

本荘支所長兼造林課長補佐 菊地 輝和

由利支所長 小野 達也

岩城支所長 今野 正哲

東由利支所長 阿部 正輝

総務課長補佐 武田 真澄

総務課主査 板垣 貴弘

加工課主査 伊藤 潤一

加工課主査 植田 直子

林産販売課主査 大竹 佳苗

林産販売課係長 遠藤 翼

林産販売課係長 清水 暢

林産販売課主任 古川 広茂

林産販売課主任 佐藤 佑介

大内支所主事 小野 桃

造林課主事兼本荘支所 長沼 子

総務課から ～賦課金納付のお知らせ～

賦課金納付期限は7月31日となっております。納付は、組合本所・支所及び下記の管内金融機関へ納付下さいますようお願いいたします。なお、秋田しんせい農協では手数料がかかります。

【取扱金融機関】

秋田銀行管内各支店／北都銀行管内各支店／羽後信用金庫本店・各支店／山形銀行本荘支店／きらやか銀行本荘支店／秋田しんせい農業協同組合各支店



加賀沢町内会



佐々木 正男 氏

平成28年6月9日(木)一般社団法人秋田県森と水の協会主催の表彰式が行われました。受賞誠にありがとうございました。今後のさらなるご飛躍をご期待申し上げます。

第50回 林業経営
コンクール表彰